

# かんたき通信



2024年2月号

## 「食事が減った」何かの時の看多機活用

いつも大変お世話になっております。

高齢者の療養生活の中で、急に食事が減ることが時々見受けられます。

勿論、流行感冒等での一時的なものもあるかもしれませんが、栄養量が不足することは体力・免疫力の低下を引きおこし、短期的に様々な疾病を誘発する原因ともなり得ます。

看護小規模多機能では、医療機関とも連携の上、最善のご提案をさせていただきます。



### 食事が減る

様子を見る

体力が落ちる  
行動量が減る

筋力の低下  
免疫力が落ちる

流行感冒等に感染

感冒は治るも  
更なる体力低下  
そして嚥下困難に

経管栄養検討  
のため入院

自宅での生活が  
困難に

看護小規模利用

### 泊り機能での24時間の状態観察(1~2W)

- ・嚥下状態はどうか
- ・入れ歯の状態はどうか
- ・認知機能はどうか
- ・家庭での食事内容はどうか
- ・他、食事を摂らない原因があるか



主治医

歯科医

介護看護

日々のケア

原因特定  
状態確認  
栄養剤・  
点滴指示処方

入歯調整、  
嚥下状態確認  
食事内容確認

原因特定  
すすめつつ、  
必要時点滴

原因特定  
口腔ケア  
口腔体操  
運動

回復状態に合わせ、経口食の割合を調整

在宅復帰～訪問看護、介護訪問、通いによる運動、入浴

ご家族へのアドバイス実施

在宅復帰、  
看護小規模が力になれます！

看護小規模は

窓口一本で在宅療養に必要な

サービスの一体的な提供と

退院調整のサポートをさせていただきます。



お気軽にお問合せ下さい！！



看護小規模多機能ふくしのまち上尾

☎ 048-725-6662

FAX: 048-725-6664

担当: 金田(所長) 矢島(CM)



紹介動画  
見てね！